

消防団たずね歩き

北消防団山田支団

北消防団山田支団について紹介します。

山田支団は11分団、6班からなる団員315人の大きな支団です。その活動地域は、北区の南半分が管轄にあたり里山風景とニュータウン地域が混在する自然豊かな地域です。又、歴史も古く町内には文化財も数多く残っています。

支団の日頃の訓練は、各分団、班単位で実施していますが、今年2月には上谷上地域にある石楠花谷西尾根付近で北消防署と山田支団共同の林野火災防御訓練をおこないました。参加人員は50人、車両18台とヘリコプター1機で、まず上空から火点を特定し、地上ではその情報を基に地図で火点を確認しながら水利から火点である尾根までの約400mのホース延長と放水をおこなう訓練内容でした。結果はスムーズに消火作業をおこなうことができ有意義な訓練であったと思えました。また、平成27年度に貸与された無線機を使

用することにより消防署と支団との連携もスムーズにおこなうことができました。今後、災害発生時においても対応できるように訓練を重ねていきたいと思えます。

団員は日頃の消防団活動の他にも地域活動へも積極的に参加しています。そのひとつを紹介します。地域のほぼ中心に文化財の中のひとつで、千年以上の歴史がある山田町の総氏神の「六條八幡宮」があります。毎年9月に神幸祭というお祭りがあり神輿が出ます。祭りの当番は1年ごとに各地域を順番に回りますが、ほぼ山田支団、11分団、6班の地区に当たります。もちろん、神輿の担ぎ手は団員が中心となり何日も前から練習し当日は大いに盛り上がります。

山田支団は、これからも地域の安全、安心のために日頃の訓練も重視し、支団長を中心に地域の防災力を高めていきたいと思えます。（副支団長 後出明利）



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

